

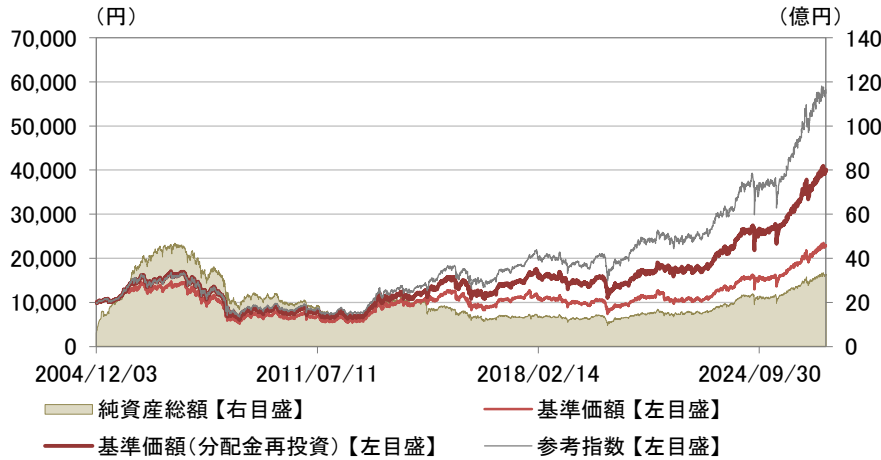
三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2026年
09月30日現在

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。
- ・参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・参考指数は、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.1%	5.5%	17.5%	29.5%	81.7%	300.8%
参考指数	-0.3%	3.8%	18.7%	33.9%	89.7%	483.2%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 電気機器	17.2%
2 銀行業	14.8%
3 情報・通信業	9.2%
4 卸売業	7.2%
5 機械	6.0%
6 化学	6.0%
7 小売業	5.3%
8 建設業	4.6%
9 輸送用機器	3.7%
10 サービス業	3.2%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 164銘柄

銘柄	業種	比率	参考指数 構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.8%	4.0%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.7%	2.6%
3 ゆうちょ銀行	銀行業	2.1%	0.7%
4 住友商事	卸売業	2.1%	0.8%
5 丸紅	卸売業	2.0%	0.7%
6 KDDI	情報・通信業	1.9%	0.7%
7 日本電気	電気機器	1.9%	0.6%
8 三井住友トラストグループ	銀行業	1.8%	0.4%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.8%	2.1%
10 東京エレクトロン	電気機器	1.8%	2.2%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・業種は、東証33業種で分類しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2026年
09月30日現在

■ファミリー・フレンドリー格付別組入比率

	比率
ファミリー・フレンドリー評価上位企業	86.0%
その他	10.9%

・ファミリー・フレンドリー評価上位企業とは全調査対象企業のうちファミリー・フレンドリー評価の観点から上位1/3以上に位置する企業です。

■オーバーウェイト比率上位30銘柄

銘柄	オーバーウェイト比率
1 ゆうちょ銀行	1.5%
2 テルモ	1.4%
3 積水ハウス	1.4%
4 富士フイルムホールディングス	1.4%
5 アサヒグループホールディングス	1.4%
6 三井住友トラストグループ	1.4%
7 野村総合研究所	1.4%
8 セブン&アイ・ホールディングス	1.4%
9 クボタ	1.4%
10 デンソー	1.3%
11 日本電気	1.3%
12 住友商事	1.3%
13 丸紅	1.3%
14 大和ハウス工業	1.3%
15 KDDI	1.3%
16 三井住友フィナンシャルグループ	1.1%
17 LINEヤフー	0.9%
18 レオパレス21	0.8%
19 三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.8%
20 明電舎	0.5%
21 コニカミノルタ	0.5%
22 栗田工業	0.5%
23 TOYO TIRE	0.5%
24 堀場製作所	0.5%
25 DTS	0.5%
26 ジェイエイシーリクルートメント	0.5%
27 富士電機	0.5%
28 三菱マテリアル	0.5%
29 タムロン	0.5%
30 シチズン時計	0.5%

・オーバーウェイト比率とは実際の組入比率がTOPIXの時価構成比を上回っている割合です。
・当ファンドはファミリー・フレンドリー評価が高く、かつ割安な株価水準にある銘柄を中心にTOPIXに対してオーバーウェイトとしています。TOPIX構成銘柄に採用されていない銘柄を組み入れる場合があります。

■運用担当者コメント(マザーファンドベース)

「ファミリー・フレンドリー企業」としての評価が高く、かつ独自の理論株価モデルで算出される割安度が高い銘柄を多く組み入れつつ、業種構成や規模構成などの要素については参考指数(東証株価指数(TOPIX)(配当込み))と過度に乖離しないようにポートフォリオを構築し運用しました。

9月のパフォーマンスは、レオパレス21、ゆうちょ銀行、トレンドマイクロ等がプラスに寄与したものの、テルモ、シチズン時計、クボタ等がマイナスに影響したことにより、ファンド全体では参考指数を下回りました。

今後におきましては、個別銘柄ベースでのファミリー・フレンドリー評価に変更があった場合、あるいは業績予想、株価水準等が大きく変化し割安度が低下した際には、ファンドコンセプトを維持するために銘柄入替を実施いたします。

なお、当ファンドではパフォーマンスの向上を目指して、ポートフォリオ構築方法の見直しを検討いたしました。その検討結果からパフォーマンスの改善が期待できると判断し、2026年3月に改善案の導入を行いました。引き続きパフォーマンス向上に向けた運用改善に取り組んでまいります。(運用主担当者:指田 晃平)

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2026年
09月30日現在

ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。

グッドバンカー社便り 〜グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

■SRI業界コメント

ドーパミン中毒からの脱却——ESG投資で中長期的視野を

昨今、よく耳にする「ドパガキ」というインターネットスラングがあります。SNSの普及により、ショート動画やゲームなどの刺激の強いコンテンツに慣れて、常に強い刺激を求めるようになり、スマホを一時も手放すことができない若年層のことです。いわゆる「ドーパミン中毒のガキ」の略称ですが、若年層に限らず成人でもこのような傾向が見られ、年齢に関係なく「ドパ中」と言うこともあるそうです。ドーパミン中毒になると、集中力の低下や無気力、うつ・不安障害への移行リスクが高まるとされています。

当然、勉強や仕事などへの支障もきたすことになります。そのような刺激からあえて距離を置くための「デジタルデトックス」や「ドーパミンデトックス」といった取り組みも行われるようになっています。

今年2月にこども家庭庁が発表した調査によると、小中高生の平日のインターネット利用は5時間半で最長になり、その3割が生成AIを利用していることがわかりました。すぐに回答が得られるAIも、ドーパミンが放出される刺激に似たものがあると言えます。

AIは、今や仕事にも会社にとっても欠くことのできないものとなっていますが、あまりに加熱する開発競争に、AI開発者自身が警鐘を鳴らす事態となっています。アメリカの新興AI企業、アンソロピックのダリオ・アモデイCEOが、「半年から1年以内にインターネット全体を乗っ取る能力を持つ可能性もある」として、「AIの能力向上のペースを減速させる必要がある」と主張したのです。この呼びかけには、ライバル企業であるオープンAIのサム・アルトマンCEOやAI開発も行うイーロン・マスク氏も賛同していますが、トランプ大統領は「決して起こりえない」と反論しています。

AIは、機関投資家やヘッジファンド、リテール投資家、運用会社などでも活用されています。AIにより、大幅な分析時間の短縮が図られ、EPS予測では人間のアナリストを上回ったというデータもあります。

当然、個人としてAIで株式調査をしている投資家もいらっしゃるでしょう。だからこそ、どのようなプロンプト（指示文）を書くかが重要です。

今、AIインフラや防衛産業が投資家に人気が高いセクターとして注目されています。しかし、短期的なリターンによるドーパミン効果を得るだけでなく、中長期的な視野をもって「あるべき社会」に投資するESGの観点から、今こそ必要と言えます。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

クレハ（化学、4023）

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

同社は、「人的資本の強化が中長期の企業価値を決める」との考えのもと、人財育成・エンゲージメント向上施策の強化、人的資本への計画的投資を通じて、組織力の高度化を図っています。2023年度から開始したエンゲージメントサーベイの結果を受け、経営層と社員の相互理解を促進させるため、タウンホールミーティングを開催して経営トップが社員にビジョンや経営方針を直接発信するとともに、社員との対話機会を設けました。また、ラインマネージャー向けのアクションプラン策定ワークショップを実施するなど、職場単位でのエンゲージメント向上に向けた活動も推進しています。さらに、社員一人ひとりが主体的に成長に挑戦する組織の構築を図るため、新たに社内公募制度を導入し、社員が自ら手を挙げて新たな業務や役割に挑戦できる環境を整備しました。また、2030年度に女性管理職比率を10%以上とする目標に向けて、講演会や座談会を通してキャリア形成やリーダーシップについて考える機会を提供しており、2025年度は8.3%となりました。

2026年度からは新たに「人的資本経営の推進」をマテリアリティに位置付け、その結果として「多様な人財の活躍」の最大化をめざし、各種施策を推進しています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

昨今、エンゲージメントサーベイを実施する企業は増加していますが、その結果を踏まえ、部長層向けの結果説明会を行うほか、具体的に改善策につなげ、社員のエンゲージメント向上を積極的に図っている点を評価します。上記の取り組みの結果、社員と会社との意思疎通の円滑化が図られ、社員の主体的なキャリア形成への意欲向上、多様な働き方やライフイベントとの両立支援が進んだそうです。

同社は「2035年度長期経営計画」において、新たな事業ポートフォリオ体制を確立しようとしています。これらの事業戦略に向けて、将来必要となる人財像や人員構成の明確化を進めています。また、高度専門人財の確保・育成に向けた仕組みづくりにも取り組んでいます。加えて、事業戦略を推進していくための基盤となる組織風土や働く環境の整備も重要と考え、継続的に取り組みを進めています。これらの施策により、意欲と能力を高めた多様な人財が活躍することで、同社の経営戦略を実現し、持続的な企業価値向上につながることを期待します。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2026年
09月30日現在

グッドバンカー社便り 〜グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

JX金属（非鉄金属、5016）

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

多様な人材の雇用推進とともに、柔軟な働き方の制度整備や両立支援によって、誰もが働きがいを感じながら能力を最大限に発揮できる職場環境の実現をめざしています。女性活躍推進については、女子学生向けにセミナーの開催や広報活動を展開して女性採用の拡大を図る一方、女性管理職数の増加に向けて、研修・面談を通じて管理職候補層のキャリア意識を醸成。DE&Iフォーラムの開催や女性技術系社員ネットワーク形成の施策などによって、ロールモデルと接したり、社員同士が悩みや経験を共有したりする機会も設けています。キャリア形成支援については、自ら希望する外部研修プログラムを受講できる「セルフ・イノベーション・サポート」制度やオンライン学習などで、自律的な能力開発を推進。地方自治体など外部組織での実践的な学習機会を提供する「越境学習」も実施しています。

障がい者雇用では、特例子会社内の「チアフルサポート室」や各事業所の障がいのある社員が、清掃や印刷・電子化などの事務補助といった様々な業務を、本人の適性や特性に応じて担当。茨城県水戸市に設立した農福連携事業「内原ファーム」で障がいのある社員が作った農作物は、社内食堂などで活用するほか、事業所近隣のこども食堂への寄付も行っています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

多様な人材がやりがいを持って働くことのできる環境整備を進めていることを評価します。女性活躍推進のイベントでは、参加者から「さまざまな経験を聞き、仕事を続けていくイメージがより具体化した」「働く上での女性ならではの悩みを共有できた」といった声が寄せられています。「越境学習」の利用者からは、「立場や考え方の異なる方々と協働する中で、相手の背景を理解しながら物事を進める力が養われた」「新たな挑戦への前向きな姿勢につながった」といった声が上がっており、多様な視点を生かした働きやすい職場づくりや、社員の実践力向上といった効果が期待できます。障がいのある社員の活躍については、健常者の社員から「共に働く中で、職場全体で業務を分かりやすく整理する意識が高まった」との意見があり、障がいのある社員本人たちも、担当業務の拡大や周囲からの感謝を働きがいや自信へとつなげている様子も伺えるそうです。装置産業型企業から技術立脚型企業へと転身し、半導体材料／情報通信材料のグローバルリーダーとして持続可能な社会実現への貢献をめざす同社が、「人」の意欲・能力を最大限に引き出す人的資本経営をさらに推進することを期待します。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

稲畑産業（卸売業、8098）

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

「人」こそが最大の経営資源であり、企業価値の源泉、との考えの下、社員一人ひとりの知見・経験・行動力を高め、その能力を最大限発揮できる環境を整えています。働きやすい職場環境の整備に向け、三連休以上となるよう年次有給休暇の取得奨励日を設定し、社内報などを通じて周知することで年休取得を促進。育児や介護、私傷病の治療との両立を支援する「在宅勤務制度」や、最適な就業時間帯を選択できる「時差出勤制度・昼時差休憩制度」、「時間単位の年次有給休暇」なども設定しています。育児・介護支援については、法定以上の育児・介護休業や短時間勤務などの制度に加え、介護コンシェルジュなどの相談支援も整備しています。男性育休取得促進のため「男性育休取得率100%」を目標として、23年4月から5日間の取得を義務化しました。女性の活躍推進に関しては、「女性管理職比率を2028年3月までに8%以上、2030年までに10%」の目標に対し、25年度実績は7.3%となっています。地域限定で管理職をめざすことができる職掌の導入や、女性スタッフ職向けワークショップの開催などに加え、部署を超えた取り組みとして、経験豊富な社員（メンター）が新入社員や若手社員（メンティー）と1～2か月に1回の面談を行う「メンター制度」を実施しています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

人的資本の強化を重要な経営課題と位置づけ、社員の声を改善に結び付けることを重視しつつ人事制度の整備を進めていることを高く評価します。育休や柔軟な勤務制度の利用をきっかけに、限られた時間の中で優先順位を付けること、早めに周囲へ相談・共有することなどの重要性について、本人だけでなく周囲も含めた職場全体で認識し、業務継続性やチームでの補完体制の見直しといった実務上の改善につながった事例も出ています。女性活躍に関して、地域限定で管理職をめざすことができる職掌の利用者は、「キャリアの選択肢が広がった」との声を寄せており、メンター制度では直属の上司ではない立場からの助言により、メンティーは本音を話しやすい環境が整ってモチベーションの維持・向上にもつながるだけでなく、メンターにとっても、若手の価値観を知る貴重な機会となるなど、双方向の学びが生まれています。

特定の製品や技術ではなく、顧客や仕入先の課題に対する最適な解決策の提供を強みとする同社が、多様な背景や強みを持つ社員の能力を最大限に発揮させることによって、企業競争力をさらに高めることができるか、注視していきます。

・グッドバンカー社からのコメントは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、三菱UFJアセットマネジメントの個々のファンドに影響を与えるものではなく、投資勧誘・販売を目的とするものではありません。
・業界コメント等については、グッドバンカー社が信頼できると判断した情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。

■本資料で使用している指数について

・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド (愛称:ファミリー・フレンドリー)

追加型投信/国内/株式

◆当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてESG要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

(<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>)

当ファンドの具体的な投資対象・投資手法等については、交付目論見書の特徴をお読みください。

* ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

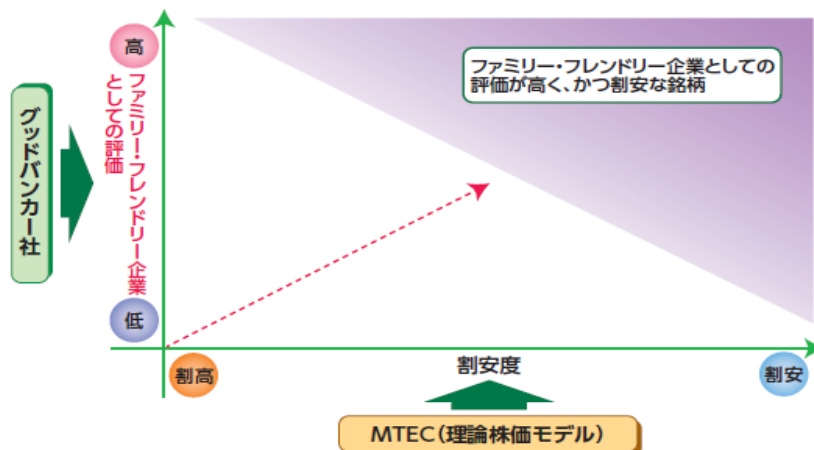
わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、「ファミリー・フレンドリー企業」として高く評価され、かつ株価が本来あるべき価格(理論株価)に対して割安と判断される銘柄に投資を行うことにより、長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

・ファンドにおいて「ファミリー・フレンドリー企業」とは「仕事と生活を両立でき、多様で柔軟な働き方を選択できる企業」をいいます。ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。

・個別銘柄の理論株価および理論株価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行と同社グループの投資理論研究機関「MTEC」(三菱UFJトラスト投資工学研究所)が共同開発した「理論株価モデル」を活用します。

<ファンドの基本コンセプト>



・SRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資)とは、財務的な観点からだけでなく、特に社会的存在として企業のあり方を評価して投資する運用手法です。

・ファンドはSRIの一分野である「ファミリー・フレンドリー」をテーマとしたファンドです。

■ ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、以下のような観点に着目して行います。

主な評価ポイント	
各種制度の整備・運用状況	産休、育児、介護休業の制度内容・運用実績・施策の多様性などを評価
多様な労働条件の整備・運用状況	雇用・就業形態の多様性、時間のゆとりなどを評価
その他の両立対応	仕事と家庭の両立のための独自施策、キャリアサポート、健康や安全への配慮などを評価
社会への支援活動	子育て、介護に関する社会支援活動、学生への支援状況などを評価

1 当ファンドでは、ファミリー・フレンドリー企業について、上記の「主な評価ポイント」などに応じて評価しており、評価ランクが上位1/3に属する企業への投資割合が概ね80%以上となることを目指します。ただし、上記は銘柄選定の視点を示したものであり、そのような制約条件の下でポートフォリオを組むことが難しい場合や好ましくないと判断される場合には、この投資割合を80%未満に引き下げることがあります。また、ファミリー・フレンドリー企業が必ず利益成長を達成し、株価が上昇するわけではなく、環境によっては業績が悪化し、株価が下落することがある点にご留意ください。

2 各企業のファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社等から入手できる情報にて行っておりますが、その入手できる情報量、もしくはその正確性、完全性には限界があるため、SRI企業として認めうるもの判断の正確性、完全性について保証するものではありません。なお、上記の評価ポイントは、今後見直す可能性があります。

3 投資銘柄の選定は、最終的に三菱UFJアセットマネジメントが行います。

4 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページをご覧ください。

(https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

ファンドの目的・特色

■委託会社のスチュワードシップ方針

委託会社はお客さまから委託された資産の運用を行う立場として、投資先企業が株主利益を考慮して企業価値の向上や持続的な成長を果たすことに資するため、気候変動や人権・ダイバーシティ、ガバナンス体制などの投資先企業におけるESG課題を重視し、企業との「目的を持った対話」や明確な方針のもとでの議決権行使などのスチュワードシップ活動を実施します。

(ご参考)

委託会社のスチュワードシップ活動

https://www.am.mufg.jp/investment_policy/responsible_stewardshipcode.html

■ファンドの仕組み

・運用は主に三菱UFJ SRIマザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

■分配方針

- ・年1回の決算時(11月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・サステナブル・ファンドでは、投資対象銘柄の選択にESG評価を用いているため、ESG評価に基づく銘柄組入れおよび除外基準により、ファンドの主要投資対象市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また投資機会や投資対象となる銘柄が制限される場合があります。
- 投資先企業のESGにかかる評価に際し、第三者データなどを活用することがあります。企業開示が不十分などの理由からこれらのデータや情報が不完全な場合などには、投資対象銘柄の選択の判断に影響する場合があります。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド (愛称:ファミリー・フレンドリー)

追加型投信／国内／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 なお、販売会社によっては異なる場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2004年12月3日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA(少額投資非課税制度)」の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。くわしくは、販売会社にご確認ください。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.3%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.65%(税抜 年率1.5%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号 加入協会: 一般社団法人資産運用業協会	●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社 <ホームページアドレス> https://www.am.mufg.jp/ <お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034 (受付時間 営業日の9:00~17:00)
--	--

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

2026年09月30日現在

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:三菱UFJ SRIファンド

商号	登録番号等		日本証券 業協会	一般社団 法人 資産運用 業協会	一般社団 法人 金融先物 取引業 協会	一般社団 法人 第二種金 融商品取 引業協会	一般社団 法人 日本STO 協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		
株式会社三菱UFJ銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	
三菱UFJ信託銀行株式会社(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(※)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。